

ご挨拶

未来につなぐ 町づくりを目指して

只見町長 菅家 三雄



明けましておめでとうございます。
令和二年の初春を迎え、謹んで新年
のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、つづ
がなく輝かしい新年を迎えられたこと
とお慶び申し上げます。また、日頃町
政にお寄せいただいておりますご支援
ご協力に対し心から感謝申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、四月
に「令和」という新元号が発表され、
日本全国が新たな時代の始まりに湧い
た年でありました。

本町におきましては、八月一日に町
制施行六十周年の節目を迎え、「令和」
という新たな時代の幕開けと共に、六
十周年の記念すべき日を町民の皆様と
祝うことができました。改めまして、
郷土発展のためにご精励くださいまし
た町民各位をはじめ、関係各位の力強
いご支援とご協力に対し深く感謝を申
し上げます。また、十月には、台風十
九号による豪雨により、町内において
も国道が崩落するなどの被害を受け、
今なお復旧に向けて全力を尽くしてい
るところであります。こうした災害が
頻発している昨今、町制施行六十周年
の節目の年を「防災元年」と位置づけ、
町民各位のご協力により、全町での防
災訓練を実施いたしました。

さて、「令和」という元号には、「人々
が美しく心を寄せ合う中で、文化が生
まれ育つ」といった思いが込められて
いるそうです。

令和二年を新たな出発の年と捉え、
本町におきましても、町民一人ひとり
が希望に満ちあふれ、活躍できるまち
づくり、更には住んで良かったと実感

できる町づくりを目指して、最重要課
題である人口減少対策を念頭におき、
成長する町から成熟した町へ向けて全
力で取り組んでまいります。

第一は、「自然と共生するまちづく
り」であります。ユネスコエコパーク
行動計画の中間見直し結果に基づき取
り組んでまいります。そのために、自
然環境や伝統文化を保護しながら、活
きる森の再生化等、地域資源を持続可
能な形で利活用し、引き続き町内外へ
の理念の普及とともに、さらなるブラ
ンド向上に結び付け、世界に誇れるユ
ネスコエコパークの町を目指します。

第二は、「文化に根づく人づくり」と
学び続けるまちづくり」であります。
少子化が進む中、将来の只見町を担う
児童、生徒の教育は重要課題でありま
す。地域特性を活かした学びや持続可
能な地域の担い手を育む教育、小・中
学校から高校が連携した学力向上対策、
学習環境整備の充実に努めてまいりま
す。さらに、民具収蔵庫の整備を進め、
地域文化の振興及び継承を図り、生涯
学習を通じて地域を担う人材の育成に
努めてまいります。

第三は、「住民が主役のまちづくり」
であります。町づくりには、住民各位
の積極的な参画が必要不可欠でありま
す。人口減少による地域の活力低下が
進む中、より一層の住民の安全・安心
の確保が求められております。地域づ
くりを担う各振興センターの連携を深
めるとともに、地域コミュニティの支
援に努め、町民の自発性・主体性を尊
重しながら地域課題の解決を図ってま
いります。

第四は、「住みやすいまちづくり」の
推進であります。地域の実情にあった
福祉施策の充実を図り、多くの皆様が、
住み慣れた地域で生活され、いつまで
も健康で町づくりに参加をいただくこ
とが重要と考えます。引き続き、保健・
福祉・医療の連携を図り、健康で生き
がいのある高齢者施策、そして、地域
全体での子育て支援の体制づくりを推
進してまいります。また、朝日診療所
につきましては、医療体制の維持を図
るべく、引き続き看護スタッフの確保
に努力してまいります。

第五は、「働きがいのあるまちづく
り」であります。J・R只見線の全線再
開通に向け、只見線を核とした広域連
携による交流人口拡大、さらに国道二
八九号八十里越開通を視野に入れた道
の駅整備など、新たな時代に向けた町
づくりを目指して、観光誘客施策、イ
ンバウンドの拡大、伝統工芸の産業化
などによる地域振興に取り組みます。
また、農業生産法人などの担い手育成
に努めるとともに、米、夏秋トマト、
花卉栽培などの振興とあわせ、只見産
米ブランド化、地産地消を推進してま
いります。また、ほ場整備事業、中山
間整備事業の円滑な進捗に努めてま
いります。

以上申し上げました施策の実現に向
け、地域を支え町の未来を担う人づく
り、人材確保に全力で取り組んでま
いる考えであります。

結びに本年が皆様にとりまして、素
晴らしい一年となりますようお祈り申
し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年の

新しい時代の 幕開けに備えて



只見町議会議長 齋藤 邦夫

明けましておめでとうございます。
只見町議会を代表して、謹んで新年
のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい新春をお
迎えることとお慶び申し上げます。ま
た、日頃、議会活動に深いご理解とご
指導を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、国の元号が「平成」
から「令和」に改元され、新しい時代
の幕開けとなりました。

国際情勢は、米中貿易摩擦に始まり、
香港の反政府デモ、英国のEU離脱問
題、北朝鮮の非核化、日韓関係の悪化
などの混迷が続きました。また、異常
気象によりアマゾンの大火災や南アジ
ア地域の大洪水では多くの尊い命が犠
牲となり、地球温暖化が懸念される中、
年末にはCOP25が開催され各国の対

応が注目されました。スウェーデンの
十六歳の少女グレタさんの「大人たち
は子供の未来を奪うな」若者の叫びは、
全世界に大きな波紋を呼んでおります。
一方、国内では、九州地方の記録的な
豪雨災害、更に台風十九号では十二都
県に大きな災害を与え、県内でも河川
の氾濫で甚大な被害を受けました。

さて、公職選挙法の改正により選挙
権が十八歳に引き下げられ、改元後、
初の参議院議員選挙は、若い世代の政
治意識が注目されましたが、若者の投
票率は低く政治離れが懸念されます。
また、国は社会保障の財源確保のため、

消費税率を10%に引き上げ、その財源
を基に幼児教育・保育を無償化する「改
正子ども・子育て支援法」を成立させ
ました。

本町の経済活動は、台風や高温障害
により基幹産業である農業は、稲作、
トマト、花卉等、作柄は平年作を若干
下回りました。商工観光部門では観光
客や購買力の伸び悩みで経営不安を抱
える一方、誘致企業は順調に推移しま
した。また、高齢化が進む末端集落で
は、日常生活品の購入やコミュニティ
活動にも支障を来し、新たな視点で対
策が求められます。主な公共事業は、
防災無線のデジタル化、シルバー人材
センターの設置、民具収蔵庫の建設が
進められています。

議会は、当面する緊急課題に対処す
るため、二つの特別委員会を設置し、
①国保朝日診療所の厳しい現状を踏ま
え、医療環境の改善とスタッフの確
保等、長期展望に立ち「町民の命の
砦」として充実。

②八十里越開通に伴い大量の観光客の
誘客センターとして「交流拠点施設
の経営改善と施設拡充」など、
専門機関の指導を受けて提言を取りま
とめ、町当局に速やかな対応を求めて
います。また、只見町総合戦略をしっ
かり検証し、第二期計画では、未来を
担う人材育成と確保、特に若者の活躍
できる環境づくりと世界に誇る只見ユ

ネスコエコパーク推進のための行動計
画に期待したいと思えます。

待望のJRR只見線復旧工事は、令和
三年完成を目標に進められ、国道二八
九号八十里越道路の開通後は、約五十
万台に及ぶ交通量が見込まれ、本町経
済と町民生活に多大な影響を与えます。
単なる通過地点にしない為、観光客誘
客施設や観光の町に相応しい駅前整備
等、「只見町の新しい時代の幕開けに備
えて」環境づくりに努めてまいります。

今年、東日本大震災からの復興を
銘打って東京オリンピックが開催され
ますが、三月に議会議員選挙、十一月
には町長選挙が行われます。町民皆様
の積極的な参画をいただき、町政の更
なる前進を図りたいと思えます。

只見町議会は、二元代表制の下、通
年議会制度をフルに生かし、提案する
議会に努め、山積する町政課題に取り
組んでまいります。そして、議会と当
局は、互いに切磋琢磨しながら町民の
意思を尊重し、只見町の発展のために
全力を尽くしてまいりますので、尚、
一層のご指導とご支援をお願い申し上
げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして
実りある飛躍の年となりますよう心か
ら祈念申し上げます。新年の挨拶とい
たします。